

## 郡山市都市公園条例で規定する使用料の減免に関する取扱基準

平成7年3月29日

郡山市都市公園条例（以下「条例」という。）第13条の規定による使用料の減免に関する取扱いについては、特例的取扱いを要するものとしてそのつど定めるものを除き、下記に定めるところにより処理する。

### （記）

#### 1. 有料施設使用料の金額を免除できるもの

- （1）市（市の機関を含む。以下この条において同じ。）が主催して行なう場合。
- （2）公共団体が市と共催して行なう公益事業であって、入場料を取らない場合。
- （3）郡山市地域内の児童福祉施設の教員（付添者を含む。）が正規の教員課程のため児童及び生徒を引率して使用する場合。
- （4）郡山市域内の身体障害者、精神薄弱者及び精神障害者に対する援護施設等の職員（付添者を含む。）が入所者を引率して使用する場合。

※ ((3)(4)の規定は、土曜、日曜、祝日並びに小・中学校の春・夏・冬休み期間を除く。)

#### 2. 有料公園施設使用料の一部を免除できるもの

- （1）他市の身体障害者、精神薄弱者及び精神障害者に対する援護施設等の職員（付添者を含む。）が入所者を引率して使用するとき一公園内有料公園施設のいずれかについて回数を限定して使用料を免除する。

※（土曜、日曜、祭日並びに小・中学校の春・夏・冬休み期間を除く。）

#### 3. 公園広場を使用して催し物を行なう場合公園使用料の金額を免除できるもの

- （1）市が主催して行なう場合
- （2）公益的事業に寄与する催しを行なう団体が使用する場合。ただし市が共催又は後援するものに限る。